



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月13日

上場会社名 ポパール興業株式会社
 コード番号 4247 URL <http://www.poval.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 孝敏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 黒田 英文

TEL 052-419-1827

四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	2,672	23.5	329	113.6	343	102.3	239	41.8
30年3月期第3四半期	2,164	25.5	154	92.2	169	173.4	168	370.6

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 228百万円 (8.9%) 30年3月期第3四半期 210百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	181.82	
30年3月期第3四半期	128.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	5,820	4,677	80.1	3,538.40
30年3月期	5,784	4,501	77.5	3,404.79

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 4,661百万円 30年3月期 4,485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		40.00	40.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,354	14.8	355	51.7	375	45.6	262	8.1	199.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	1,317,400 株	30年3月期	1,317,400 株
31年3月期3Q	54 株	30年3月期	54 株
31年3月期3Q	1,317,346 株	30年3月期3Q	1,317,385 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、米国政権の政策や欧州の政治リスクなどによる国内景気への影響が懸念されるなか、政府の各種経済対策、製造業における生産設備の高度化・自動化を背景とした旺盛な需要もあり景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような経済状況のもとで、当社グループは「接着・樹脂加工を基盤とし、拠点相互のネットワークを最大限活かした成長事業、新規事業とグローバル展開」を基本方針として、「ソリューションビジネスの展開」「グローバル展開の推進」「成長事業・新規事業推進」を目標に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、ウレタンタイミングベルト、ディスプレイガラス向け部材の販売が堅調に推移したほか、特殊設計機械事業において食品向けの機械販売が堅調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,672百万円（前年同期比23.5%増）、営業利益は329百万円（前年同期比113.6%増）、経常利益は343百万円（前年同期比102.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は239百万円（前年同期比41.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

総合接着・樹脂加工

総合接着・樹脂加工につきましては、鉄鋼・食品業界向けのベルトの販売が堅調に推移したほかウレタンタイミングベルト、ディスプレイガラス向け部材の販売が堅調に推移しました。以上の結果、売上高は2,043百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

特殊設計機械

特殊設計機械につきましては、食品向け機械の販売が堅調に推移しました。以上の結果、売上高は633百万円（前年同期比128.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて36百万円増加し、5,820百万円となりました。このうち、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べて148百万円増加し、2,759百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が135百万円増加したことによるものであります。また、固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べて112百万円減少し、3,061百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が23百万円、機械装置及び運搬具が36百万円、建設仮勘定が22百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて139百万円減少し、1,143百万円となりました。このうち、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べて156百万円減少し、796百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が28百万円減少したことによるものであります。また、固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べて16百万円増加し、346百万円となりました。これは主に役員退職慰労引当金が8百万円、退職給付に係る負債が8百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて176百万円増加し、4,677百万円となりました。これは主に、利益剰余金が186百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績の進捗状況及び今後の動向を勘案し、平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日別途発表しております「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	897,661	876,676
受取手形及び売掛金	860,940	996,423
商品及び製品	54,151	96,419
仕掛品	531,126	521,363
原材料及び貯蔵品	227,821	239,253
その他	41,084	31,328
貸倒引当金	△1,852	△1,981
流動資産合計	2,610,933	2,759,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,618,085	1,628,872
減価償却累計額	△991,275	△1,025,557
建物及び構築物(純額)	626,810	603,315
機械装置及び運搬具	1,344,847	1,345,245
減価償却累計額	△1,087,441	△1,124,790
機械装置及び運搬具(純額)	257,406	220,454
土地	1,397,513	1,398,381
建設仮勘定	27,082	5,048
その他	210,636	213,273
減価償却累計額	△180,846	△187,043
その他(純額)	29,790	26,229
有形固定資産合計	2,338,602	2,253,430
無形固定資産		
のれん	65,287	53,761
その他	5,769	5,774
無形固定資産合計	71,057	59,535
投資その他の資産		
投資有価証券	620,891	599,004
その他	145,697	150,866
貸倒引当金	△2,647	△1,612
投資その他の資産合計	763,941	748,259
固定資産合計	3,173,601	3,061,224
資産合計	5,784,535	5,820,708

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	451,191	422,782
短期借入金	20,402	20,000
未払法人税等	42,068	59,463
賞与引当金	65,535	43,632
その他	373,701	250,351
流動負債合計	952,899	796,230
固定負債		
役員退職慰労引当金	197,668	206,576
退職給付に係る負債	121,321	129,900
その他	11,210	10,460
固定負債合計	330,200	346,937
負債合計	1,283,099	1,143,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	179,605	179,605
資本剰余金	275,336	275,336
利益剰余金	3,829,391	4,016,212
自己株式	△68	△68
株主資本合計	4,284,264	4,471,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,855	118,113
為替換算調整勘定	69,171	72,097
その他の包括利益累計額合計	201,027	190,211
非支配株主持分	16,143	16,243
純資産合計	4,501,435	4,677,540
負債純資産合計	5,784,535	5,820,708

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	2,164,300	2,672,039
売上原価	1,320,641	1,643,825
売上総利益	843,659	1,028,214
販売費及び一般管理費	689,447	698,836
営業利益	154,211	329,377
営業外収益		
受取利息	561	330
受取配当金	10,955	9,154
補助金収入	4,117	—
その他	4,114	7,716
営業外収益合計	19,748	17,200
営業外費用		
支払利息	1,156	228
為替差損	2,995	2,762
その他	64	147
営業外費用合計	4,216	3,138
経常利益	169,743	343,439
特別利益		
固定資産売却益	1,974	—
匿名組合投資利益	30,928	—
保険解約返戻金	27,432	7,350
特別利益合計	60,335	7,350
特別損失		
固定資産除却損	1,077	792
特別損失合計	1,077	792
税金等調整前四半期純利益	229,001	349,996
法人税等	57,882	109,641
四半期純利益	171,118	240,355
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,227	840
親会社株主に帰属する四半期純利益	168,891	239,514

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	171,118	240,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,700	△13,742
為替換算調整勘定	31,316	2,185
その他の包括利益合計	39,017	△11,556
四半期包括利益	210,136	228,798
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	207,675	228,698
非支配株主に係る四半期包括利益	2,460	99

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	総合接着・ 樹脂加工	特殊設計 機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,889,555	274,745	2,164,300	—	2,164,300
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149	11,763	11,913	△11,913	—
計	1,889,704	286,509	2,176,214	△11,913	2,164,300
セグメント利益又は 損失(△)	230,562	△4,130	226,431	△72,220	154,211

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	226,431
セグメント間取引消去	△114
全社費用(注)	△72,106
四半期連結損益計算書の営業利益	154,211

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

特殊設計機械事業において、第2四半期連結会計期間にユニカー工業株式会社の株式を取得したことにより、セグメント資産が289,365千円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間より、ユニカー工業株式会社の株式を取得し、連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、特殊設計機械事業において51,035千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	総合接着・ 樹脂加工	特殊設計 機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,043,049	628,989	2,672,039	—	2,672,039
セグメント間の内部 売上高又は振替高	45	8,856	8,901	△8,901	—
計	2,043,095	637,845	2,680,941	△8,901	2,672,039
セグメント利益	250,892	125,651	376,543	△47,165	329,377

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	376,543
セグメント間取引消去	1,409
全社費用(注)	△48,575
四半期連結損益計算書の営業利益	329,377

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。